

ちくたく

「岡輝め宝」



岡輝中学校校長 門田 正充

光栄なことに、2度も内示で岡輝中学校の名前を聞くことができました。1度目は全く頭の中で想定していなくて、意外な感じがしたのを覚えています。我が家や以前の赴任校が東方面だったからでしょう。着任してからの9年間は無我夢中で、

新しい同僚に支えられ、様々なことに挑戦したものです。そうして、3年間の教頭生活を芳田中学校で過ごし、再び岡輝の門をくぐることになりました。さらに、この度は、校長としての着任で、責任の大きさも感じているところです。若いときにはいわゆる出戻り人事には否定的で、新しい学校でフロンティア精神で学校を改革していくことこそ、我々教員の使命だなどと思っていましたが、若き日の思いはどこへやらで、同僚とともに「すべての子どもたちの学びと育ちを保障する」を目標に、より良い授業づくり、学校づくりを目指して、再び夢を追いかけたいと思います。

さて、タイトルの「岡輝め宝」は2010年の文化発表会でコーキーズ（先生方のバンド）がBIGINの「島人め宝」を替え歌にして披露したのがきっかけで、その後、職員向け教務通信のタイトルにもしました。言うまでもなく「岡輝め宝」はすべての子どもたち・地域の方・教職員を指すもので、例えば、4月1日の岡輝（ ）校新転任者の机の上には「今日からあなたも岡輝め宝」の張り紙が置かれています。今年、その日、私の机の上には「カムバック！おかえり！岡輝め宝」の張り紙があり、嬉しくて持って帰って妻にも見せました。しかし、なんといっても一番の岡輝め宝は子どもたちです。子どもたちがいるから保護者は成長させてもらい、学校ができて教職員の生き甲斐もてる。そうして、地域が一体となり住民にとって住みやすい岡輝学区を考えることができるのです。「銀（しろかね）も金（くがね）も玉もなにせむにまされる宝子にしかめやも」時代の変遷と共に社会は変わり、生活は変わりましたが、古来決して変わらない、いや変わってはならないものが人を慈しむ気持ちです。岡輝学区は親の気持ちを大切に、子どもたちを育てていきたいと思っています。

改めて本誌「ちくたく」を振り返りますと、創刊号が2004年7月1日に発行。その2ヶ月前の5月1日には創刊準備号がVOL.0号として発行され、今号でVOL.25号となります。その創刊準備号には「笑顔いっぱい」のコーナーがあり、子どもたち、保護者、地域の方、先生の笑顔があふれています。さあ、あなたももちろん岡輝め宝。

岡輝中学校校長 門田 正充

「コミュニティスクールは今」

文責 門田 正充

コミュニティスクールとは

学校運営に地域住民や保護者が参画することにより、地域の实情に応じた特色ある学校園を実現するために「学校運営協議会」が設置されている学校園のことです。

この協議会は、学校評議員制度の「学校長の求めに応じて意見を述べる」という役割を超えて、責任と権限をもって積極的に学校園に係わることでできる制度で、毎月1回（原則第3火曜日18：30開会）開催しています。

平成28年度の活動方針

岡輝中学校区を地域ととらえ、「子どもたちが愛されていると実感できる学校園づくり・地域づくりをめざして」取り組んでいきます。

学校園では

「0歳～15歳までの責任ある保育・教育」を目標に、幼児期からの、人との「やさしい気持ちのつながり」を大切にしたい取り組みの上に立ち、小学校、中学校へとつないでいきます。「全ての子どもの学びと育ちを保障する」「生徒指導の原点は授業である」というビジョンを持って、保幼小中で「協同学習」を通して連携から協働・一貫教育へと一歩進んだ取り組みをしています。そして、一人一人に居場所のある授業、落ち着いた学習環境の中、本当の学力を身につけさせることを目指しています。

家庭では

学校園の学力向上を支えるのは家庭の力です。中でも、学習への意欲は「元気」です。一日の元気の元は「早寝・早起き・朝食・うんち」です。「睡眠時間の確保」と「朝食」を取ることなのです。まず「早起き」から取り組んでみましょう。

さらに、小・中学校では家庭学習（予習・復習）が大切です。学校で実施したアンケート調査から、家庭での学習習慣の定着については不十分な結果が出ています。家庭力の充実こそ学力向上・学力定着に結びつきます。

また、最近、携帯電話・スマートフォンなどによるトラブルが多くなっています。使用に関して、お子様と必ず約束をし、トラブルに巻き込まれないようにしていただきたいと思ひます。

地域では

地域行事への参加については、園児、小学生だけではなく、中学生のより多くの参加が望まれます。生徒会・部活動を中心とした参加はあるものの、まだまだ参加は少ないようです。各地域でいろいろ工夫をされていると思いますが、地域社会の一員として、地域であてにされ、信頼される中学生を目指しましょう。

平成28年度の岡輝中学校区学校運営協議会委員

- 1 高柳 光成（会長・地域部）……元芳田小学校長
- 2 熊谷慎之輔（スーパーバイザー）岡山大学大学院教育学研究科教授
- 3 森谷 正孝（NPO代表）……元岡輝中学校長
- 4 広瀬 慶隆（地域部）……岡南区連合町内会長
- 5 中原 一郎（地域部）……清輝学区連合町内会長 元清輝幼・小・岡輝中PTA会長
- 6 戸田 多栄（地域部）……清輝学区主任児童委員
- 7 増川 英一（地域部）……県議会議員、元岡輝中学校PTA会長
- 8 遠藤 隆宏（副会長・地域部）……元岡輝中学校PTA会長
- 9 堀江由貴子（地域部）……元岡輝中学校PTA役員
- 10 渡邊そのえ（地域部）……元岡輝中学校PTA役員
- 11 酒井 淑（地域部）……前岡南小学校PTA副会長
- 12 高田 充巳（地域部）……元岡南小学校PTA会長
- 13 田中のぞみ（地域部）……市議会議員・愛育委員
- 14 三村 康彦（地域部）……元岡南小学校PTA会長
- 15 鈴木 祥成（地域部）……岡山県中小企業家同友会岡山南支部支部長
- 16 鳥越 知基（地域部）……岡輝公民館長
- 17 玉上由美子（地域部）……清輝児童センター館長代理
- 18 中熊 弘哲（副会長・PTA部）……岡輝中学校PTA会長
- 19 中川 俊彦（PTA部）……岡南小学校PTA会長
- 20 二神 太一（PTA部）……清輝小学校PTA会長
- 21 市川 真奈（PTA部）……岡南認定こども園保護者代表
- 22 門田 正充（副会長・学校園部）岡輝中学校長
- 23 河本 明（学校園部）……清輝小学校長
- 24 西森 治行（学校園部）……岡南小学校長
- 25 斎藤千重子（学校園部）……岡南認定こども園長
- 26 森延 淑江（学校園部）……清輝保育園長
- 27 桑金 明美（行政部）……岡山市岡山っ子育成局保育園・幼稚園課課長補佐
- 28 松岡 孝佳（行政部）……岡山市教育委員会事務局指導課指導副主査
- 29 赤木 茂（事務局長）……岡輝中学校教頭



清水康雄さんを偲んで

「清水さんとピオトープ」

岡南小学校校長 西森 治行

「おーい来たで。教頭さんおるかな」

職員室前で自転車に乗った笑顔の清水さん。自転車の前かごには、タオルやカマ等ピオトープ作業に必要なものが。清水さんを探すには、岡輝公民館か岡南小のピオトープに行けばいいとみなさんがご存じだったように、毎日岡南小に立ち寄ってくださっていました。

平成16年度に作られた岡南小学校のピオトープですが、13年経過した今も近くの川に住んでいる水生生物や樹木等の観察をしたりするのに絶好の場所となっているとともに、子どもたちにとって憩いの場所にもなっています。面積は約600平方メートル。市内でもめずらしいピオトープを造ろう。児童が考えたマンボウの形をした池と森を造り、自然とのふれあいを通して、子どもたちの豊かな心をはぐくんでいきたいというのがピオトープ造りのねらいでもありました。

平成15年11月30日。地域の皆さんの熱気が伝わってくるような最後の合同作業をしている写真の中央に清水さんが写っていました。また、毎年12月初旬、2回目のピオトープ教室が開かれ、ピオトープで育てた稲の脱穀、ピオトープの整備（枯葉集め、通路への土運び）、お餅つきを行っています。昨年も稲の脱穀では、清水さんからやり方を聞きながら、昔の道具（足踏み脱穀機、とうみ）を子どもたち一人一人が体験しました。

このように今日まで、ピオトープの維持管理やピオトープ教室では、ピオトープを育む会の中心のメンバーとして、子どもたちのため、岡南小学校のために全力で支援をさせていただいてきました。

清水さん、今年はさみしい夏を迎えています。ピオトープはきれいですよ。安心して下さい。今まで本当に本当にお世話になりました。ありがとうございました。



「清水康雄連長様 貴方のこと 忘れない 私の心の中 すーっと これからも生きています」

千後 英治

自転車、バイクには広報誌・伝達書を、車は地域のボランティア活動に必要な用具や工具を乗せ、学区内外や地域の中狭しと、忙しく走り回られていました。大きな声で周りに指示するでは無く、何時も先頭で自ら汗をかき動いて、人を動かし、周りが動き出すと、いつの間にかいなくなり、次の場所で汗を流していた。

そんな連長に私は色々教えられ、尊敬しました。もっともっと指導していただきたかった…残念です。色々お世話になりました。有難うございました。



「清水さんの思い出」

岡山県議会議員

元岡輝中学校PTA会長

増川 英一

町内会長をされていた清水さんには、学区の行事でお会いしていましたが、親しくお付き合いをさせて頂くようになったのは、岡南小学校PTAの役員になった頃からです。ちょうど私が会長の時に学

校、PTA、地域の皆さんと一緒にピオトープを作った際に、中心的に参加してくださり、お隣の森林組合さんにご協力してもらった木製の橋の作成やら、いろいろ思い出されます。

特に完成後は、ピオトープのお世話と共にピオトープ教室でも子供たちに様々関わって頂きました。私も何度かお手伝いをしましたが、やっぱり学校の先生だったんだなぁと改めて思うほど、ピオトープ内の植物などについて、いろいろ解説してくれました。

また、個人的に、私にも何かにつけ声をかけて頂き、地域行事のご案内やお誘いをしてくださりました。

三世代交流グランドゴルフ大会では、「挨拶だけではなくて、一緒にプレーせんといけんよ」と貴重なアドバイスを下さり、以来でっただけプレーし、皆さんと楽しく交流させて頂いています。

学区の皆さんはよく知っていらっしゃるのですが、清水さんはいつも忙しくされている方で、日中はご自宅より岡南小学校や岡輝公民館にいらっしゃる事が多く、とにかく学区内も良く動かれていました。

連合町内会長として、配布物を自転車のカゴ一杯に詰め込んで配達に回られる姿も忘れられません。私の家にもよく寄って頂きました。

先日、岡山市岡南認定こども園の第1回運動会がありました。岡南幼稚園と岡南保育園が一緒になって岡南こども園になる話が来た時には、いろいろな課題がありました。私にも園からもPTAからも地域からも様々なご意見要望がありました。岡南幼稚園の顧問をされていた清水さんや学校運営協議会の高柳会長とも市役所の岡山っ子育成局長に要望に行っていました。そんなこともあったので、第1回運動会も本当に見て頂きたかったと思います。清水さん、素晴らしい運動会でしたよ。

一年間の行事の中で、去年はここでも清水さんがおられたなぁといただきますことがこれからも、たくさんあると思います。

いつも学区のため地域のため、子ども達のため、人のために動かれていた清水さんを尊敬します。心から感謝申し上げます。

清水さん本当にお世話になりました。ありがとうございました。

「ご縁をありがとうございました」

奥田2丁目 三村 康彦

私の会社と清水会長さんのご自宅とは30mと離れていない。

平日はともかく休日も会社へ出向くことが多いので、会長のお宅の前を通り過ぎると「三村君今日も仕事かなあ？頑張られえよう。」と声をかけてくださる。

学区内を自転車やオートバイに乗って駆け抜け、作業長ズボンにワイシャツとキャップを身にまとい、作業用の道具を抱えて岡南



小学校のピオトープにかよわれる。季節には宅の生け垣の剪定に汗を流され、青パトに乗って学区内の子ども達の健全な活動を見守りつつ、地域防犯活動の先達を努められる……。

この学区で大きくなった数多の子供たちは、有形無形の恩義を受けている。その恩義に気づくことはないだろうけれど、知らぬまゝ成人していることこそが、まぎれもなく清水会長の功労であろう。

生前ただ一度だけ、私自身が心底困惑した依頼をもらった。

それは…『三村君。頼むから保護司を受けてくれんか?』…「清水さん。わが子がまだ全員成人もしていないし、独立もしていないので今は勘弁してください。」…『そうか。時期が来たら頼むからよろしゅうになあ』…

その時期は二度と来ないだろうけれど、学区の連合町内会長として、遠い未来も見据えて、あらゆることに気配りしながら活動されてきた清水会長の、最初で最後の頼みだったと思うと、その時の何でもない会話が鮮明な思い出となっている。

いつも忙しく働かれておられた清水会長さん。少ししわがれたその声を聴くこともできなくなって久しい。平成28年秋。今心からご冥福をお祈りします。これまでのご縁をありがとうございます。

【ピオトープ感謝の会 ～10周年を記念して～】



平成26年2月17日(月)岡南小学校体育館で「ピオトープ感謝の会」が行われました。岡南小学校ピオトープは平成16年1月に完成し、今年で10周年を迎えました。この間、多くの方々のご尽力くださったおかげで、10年を経た現在もピオトープは児童にとって学習の場であり、また憩いの場ともなっています。そこで今回、ピオトープの維持管理に尽力

してくださった方々をお招きして、感謝の会を行いました。

感謝の会では、児童代表として6年生の石田晃浩君がお礼の言葉を述べ、感謝状と花束の贈呈を行いました。ご参加くださった方は、千後英治さん、大月剛さん、遠藤克己さん、宇野義久さん、黒田順一さん、清水康雄さんでした。感謝の会を通して、これからもピオトープを大切にしていこうという思いを、児童全員がもつことができました。

(ちくたく第20号より再掲載)



あいさつ運動 …… 岡南認定こども園

こども園では、年長児が民生委員さんと一緒に“あいさつ運動”をしています。私が我が子を送って行った時も、はじめは恥ずかしがって小さな声だった年長児が、徐々に民生委員さんに負けないくらい大きな声で挨拶してくれるようになって、朝から元気がもらえています。



「近頃、あいさつをしない子が増えていると聞きますが、他の保護者の方からも親がお手本になり進んで挨拶をしている姿を見ることが、とても大切だと思いました。」との声が聞かれているので、園だけでなく地域の皆で挨拶ができるといいですね。

岡南小学校の耐震化工事

平成28年度、岡南小学校では耐震化工事が行われています。

5月末から東館の工事が始まり、夏休みになって北館、南館の工事が本格的に始まりました。岡南小の工事は、今年度岡山市で行われている耐震化工事の中で最大級規模の工事だそうです。夏休みには、トラックやクレーンなどの大型車両が頻繁に出入りし、たくさんの工事関係者の方が働いています。すべての工事は12月には終わる予定です。



岡輝 公民館 第7回 子どもも大人も公民館 de 夕涼み

8月27日夏休み最後の土曜日、第7回「子どもも大人も公民館 de 夕涼み」が岡輝公民館にて開催されました。

前日はゲリラ豪雨に見舞われ、当日の天気心配でしたが、みんなの気持ちが届いたのか、雨雲は去り、過ごしやすい空気の中、無事に会をスタートすることができました。

今年のオープニングは岡南小学校吹奏楽部の有志のみなさんの爽やかな歌声と演奏で始まり、バザーも早い時間からの大行列！子どもたちのお楽しみのヨーヨー釣り、スーパーボール、わなげなどはスタンプカード形式で、館内のおなじみのおけ屋敷、初めての試みのくらのやみBOXもスタンプを押して回りながら、遊べるように工夫をこらしました。

そして、食べ物ブースもカレー、おでん、かき氷、綿菓子、ポップコーン、焼きそば、フランクフルトなどなど、盛りだくさん！最後のビンゴ大会まで会場は大盛況でした。

今年も岡輝学区の子どもたち、大人たちの笑顔が夏休みの終わりに公民館でたくさん見られたのは、地域の方々のひとつひとつの力が集まったおかげです。数々の場面でご協力をいただき、本当にありがとうございました。

子どもたちの成長とともに、「子どもも大人も公民館 de 夕涼み」をこれからも温かく見守っていただけますよう、よろしく願いいたします。

(子どもも大人も公民館 de 夕涼み 実行委員長 山本 美紀)



友だちと、地域の人と、先生と「いっしょに!!」公立学校園の28年度前期の取り組み

地震から身を守るには? 岡輝中学校



協同学習に取り組み始めて10年目を迎えた今年度。6月21日(火)に第1回公開授業研究会を行いました。

中山先生が保健の授業(2C)を体育館で行いました。市内外・県外から約60名という大勢の先生方が見守る中での授業でしたが、2年C組の生徒たちは、最後までよく頑張りました。

今回の提案授業のテーマは、『身を守る方法を考えよう』。ある日曜日の午後2時に中央図書館で震度6強の地震が発生。「このあとどんな行動をすればよいか」を考えることがめあてでした。

生徒たちは、最近発生した地震の写真や東北大震災のビデオ映像を観て「地震の被害」をイメージした後、グループで学び合いを始めました。体験したことがないことを予測し、言葉にすることは難しいことだと思いましたが、生徒たちは自分の考えや思いを仲間に伝えていきました。

多くの生徒が安全に避難場所(学校など)に避難することを考えていましたが、「このままココにいる方が安全じゃない?」「家族で集まる場所が決まっているからそこに行く」などの考えもあつたり、途中で【震度5の余震・火災発生】【震度6強の余震・学校近くに地割れ発生】が追加されたことなどで、課題がやや難しくなりましたが、生徒たちはグループの仲間と助け合い、つながりながら一生懸命学ぶことができました。「身を守る」ためには、日頃からの準備や情報収集、家族との話し合いの大切さなどを確認することができたようでした。

地域の方とあそんだよ 岡南認定こども園



4月にこども園としてスタートし、5ヶ月が過ぎました。

幼稚園、保育園の時同様、地域の皆様には温かいご支援をいただき子ども達も元気に過ごしています。

今回は、一学期の地域交流の様子を幾つか紹介したいと思います。

6月に年長児が作ったカレークッキングです。

地域の栄養改善委員さんが一緒に参加してくださり、野菜の切り方を教えていただいたり、出来上がったカレーと一緒に食べたりしました。子ども達からも「切るのがちょっと難しかったけど、手伝ってくれたから上手にできた。」などの感想が聞かれました。

続いて7月のシニアスクールの皆さんとの交流で、七夕飾り作り。天の川に見立てて、グループで輪つなぎで競争したり、七夕の歌と一緒に歌ったりしました。

この他にも、毎月の絵本の読み聞かせ、あいさつ運動など沢山の皆様が子ども達と関わってくださっています。

子ども達にとっては、「人とかかわり」は社会性を育むとても大きな財産です。これからも、このような交流の機会を大切にしながら過ごしていきたいと思ひます。



アメリカからの留学生と交流したよ 清輝小学校

7月12日(火)にシニアスクールの方とアメリカからの留学生との交流授業がありました。その時に2年生も一緒に交流しました。はじめは緊張して友達の後ろに隠れていた子どもたちも「ハロー。」と自分から声をかけ、あっという間にコミュニケーションをとれるようになりました。けん玉を見てもらったり一緒に折り紙を作ったりして仲よく楽しみながら日本の文化を紹介することができました。



最後に留学生のみなさんが英語で「キラキラ星」を歌ってくれました。自分たちの知っている曲を英語で歌ってもらえて子どもたちは楽しそうに聞いていました。

人権スポーツふれあい教室 岡南小学校

6月10日(金)、「人権スポーツふれあい教室」を開催しました。ファジアーノ岡山の普及コーチと人権擁護委員の方々、そして「人KENまもる君」が岡南小学校に来てくれました。

サッカーボールを使ったゲームを5年生6年生混合チームで楽しみました。コーチの得意技を見せてもらうと子どもたちは歓声をあげていました。

最後にコーチからお話を聞き、「人KENまもる君」と記念撮影をしました。「習い事をやめることは簡単だけど、続けることが大切」「家族への感謝の気持ちをもってください」など心に残る言葉がたくさん子どもたちに届いたふれあい教室でした。



楽しかったね!夏野菜クッキング 清輝保育園



5歳児の子ども達が苗から育てたなすを収穫して、みんなでクッキングすることになりました。なすの嫌いな子が多かったのですが、「切るのが難しい」と言いながらも包丁を持って喜んで切っていました。切ったなすの上にピザソースとろけるチーズをのせるのも慎重な面持ちで自分たちでしました。

焼いて出来上がったなすびピザをいつも食べる普通のピザと勘違いして「ピザじゃない」と言う子もいましたが「いいにおいがする」「おいしいね」と顔を見合わせ味わって喜んで食べることができました。なすが苦手な子もおかわりまでして食べる姿も見られました。

自分たちで苗から水をやり、大きくなるまで大事に育てて、育てた野菜を料理してみんなで食べたなすのピザの味は、きっとみんなの忘れられない味となることでしょう。

▶ 熊本へ行ってきました …… 岡輝中

6月23日~30日までの8日間、藤井先生と安楽先生が熊本へ災害支援ボランティアに行ってきました。地震の被害が最も大きかったとされる益城町へ入り、広安小学校での避難所運営と木山中学校での学習支援のお手伝いをしてきました。広安小避難所ではボランティアスタッフと避難者の方々が家族のようにともに過ごし、みんなが元気になれるようにさまざまなイベントが企画されていました。木山中は校舎が立ち入り禁止で、隣接する小学校を間借りしての授業再開のため何かと不自由を強いられる学校生活でしたが、生徒たちはみんな明るく笑顔で勉強や部活動に取り組んでいました。

被災地に行って感じたことは、人と人とのつながりが大切であるということ。そのつながりが人々を笑顔にし、元気をもたらしてくれる。人々の笑顔こそが復興へのエネルギーになるんだということです。岡輝地区が大切にしている地域のつながりは間違っていないと強く感じました。



▶ 私たちが被災地にできること …… 岡輝中

熊本地震で被害を受けた方々へ義援金を送ろうと、文化活動部が募金活動を行いました。PTA総会の会場での保護者の皆様方からのご協力もあり、合計72,878円の義援金が集まりました。5月30日に3年生の高橋さんと中熊さんが文化活動部を代表して郵便局で手続きをおこない、被災地にみなさんの「想い」を届けることができました。ご協力ありがとうございました。



キラリ輝く！ がんばっているひとたち

部活動の記録 岡輝中

◆ 卓球部 ◆

- 岡山県中学校総合体育大会
個人戦出場 鳴瀬 賢、椛田 心、杉本陽代里
- 岡山市中学校総合体育大会
1・2年生の部 男子団体戦 3位

◆ 女子バスケットボール部 ◆

- 岡山県中学校総合体育大会 出場

◆ 柔道部 ◆

- 岡山県中学校総合体育大会 出場
前田結依、谷口乃愛、竹内和也、長尾 優、正司 陽、山崎禎誠、金居大珠
- 岡山市中学校総合体育大会
3年生の部 男子団体戦 3位
81kg級 長尾 優 優勝
48kg級 前田結依 優勝
66kg級 山崎禎誠 3位

◆ 吹奏楽部 ◆

- 第57回岡山県吹奏楽コンクール
小編成の部 金賞



逆境に輝く、不屈の精神 岡輝中OB

小学校から野球漬けの毎日。岡山商大附属高校に通う吉長椋太君。高校1年の夏、突然の体調不良の精密検査の結果、肝臓の病気がわかり、医師より野球ができないとの宣告をされました。

一度は退部を申し出ましたが、野球がしたい一心でマネージャーとして、練習でノック、試合では記録員、野球部になくてもならない存在になりました。

野球に関わり毎日楽しみながらの高校生活でしたが、夏の引退試合での始球式が最後の思い出となったそうです。(写真参照)

「やらずに後悔するなら やって後悔」が彼の信条です。

「最初は野球やめようと思ったけど、野球を続けて良かったです。みんながいたから、病気に負けずにここまでやれたと思います。本当にありがとうございます。」と、支えてくれた周りの人に感謝の気持ちを語ってくれました。

取材：高田 莉沙 (岡輝中学校同期生)

始球式にて、
良い思い出
になりました

記録員として、チームを
支えてきました



▲山陽新聞より転載

Pick Up! 岡南認定こども園、スタート!

「さようなら岡南幼稚園、はじめまして岡南認定こども園!!」

森 祥子

私が岡南幼稚園を卒業したのは昭和46年です。当時は一年保育でしたが子供の数が多かった時代だったので、たくさんの友達と過ごした記憶があります。私のクラスは、うめ組といいました。園庭にあった大きな滑り台が楽しかったことや、園自慢の大きなプールで初めて泳げるようになったことがとても印象に残っています。

私自身の子供が岡南幼稚園に入園して、このプールで遊べたことは親として大変感慨深く、貴重な思い出になりました。

このプール跡地に完成したのが、新しい給食室と聞きました。こども園のかわい園児たちが安全でおいしい給食をたくさん食べて、大きく育ててくれることを心から願っています。

「子ども達の新しいつながりの場、岡南認定こども園」

山本 美紀

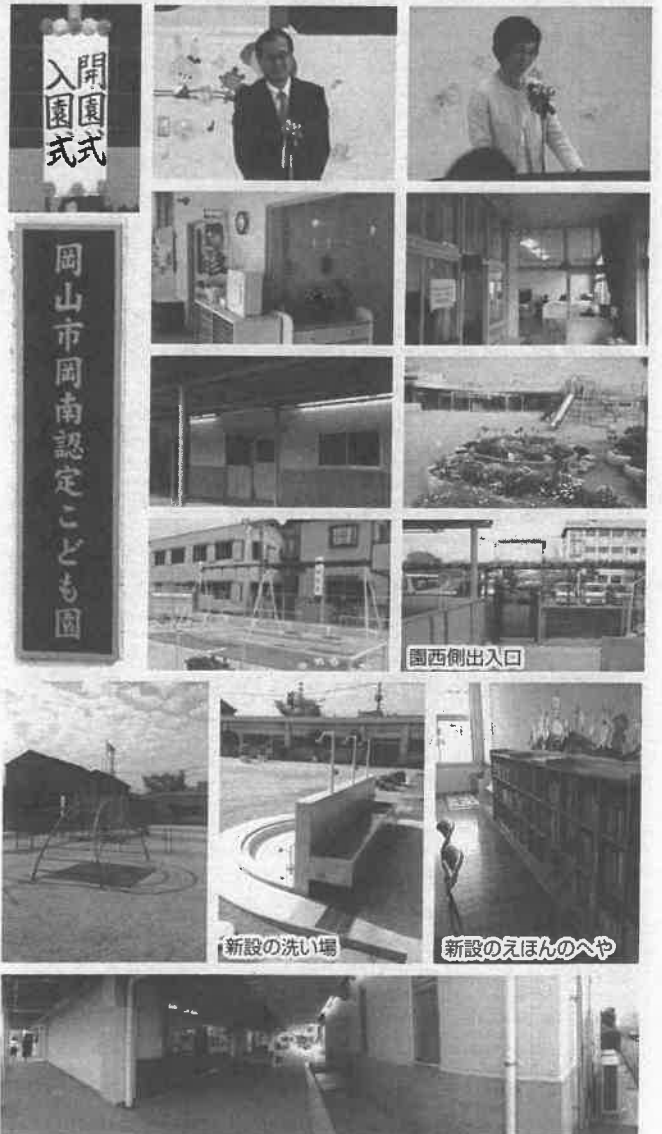
桜舞い散る快晴の4月13日、「岡山市岡南認定こども園」の開園式が行われました。認定こども園としては岡山市でこの園が5番目です。長い工事、園と市の職員の方との色々な話し合いを経て、いよいよこの日が「岡山市岡南認定こども園」のスタートとなりました。

岡南幼稚園保護者、OGとして久しぶりの園を訪れてみて、まずびっくりしたのは、遊戯室の廊下の前に広いラウンド型の手洗い場を発見!

プールがあった場所には真新しい木製のお部屋の名前プレートが可愛く並んでいました。

開園式では、多くの来賓の方々を始め、TVの取材の方も沢山来ていて室内の空気が緊張でピンと張りつめていましたが、園のおなじみの園児入場の汽車ポッポで入ってくる子ども達を見たら一気に気持ちが和んで落ち着いてしまいました。

こども園では生活時間の違う子ども達と同じ場所で時を過ごす事になります。子ども達の生活が始まると大人はつい色々考えをめぐらせて「大変なのでは…」と心配してしまいがちですが、この日、来賓の方の祝辞に、大きな可愛い声で「ありがとうございます!」と応える子ども達を見ていたら、この子達は新たに繋がったこども園の中でのびのびと生活していくのだからなあ、園の姿形は変わっても変わらないのは子ども達の元気な姿と笑顔だと思いました。これからも地域の大人のひとりとして「岡山市岡南認定こども園」の子ども達を応援していきたいです。



えほんのへや(旧幼稚園PTA室) 西角よりパノラマ撮影、右手(南)が新設給食室(プール跡地)、左手が北棟への渡り廊下

2016 サマークリーン作戦!!

平成28年8月21日(日)



▶ ビオトープの整備をありがとうございます …… in 岡南小



毎年8月末、クリーン作戦が行われる日には、岡南連合町内会の皆様が岡南小学校のビオトープを整備してくださっています。春先・夏休み・年末（ビオトープ教室&餅つき会）のときだけではなく、普段学校が開いているときも、有志の方々が季節季節にビオトープを管理くださっています。

おそらく多くの保護者の方は、地域の有志の方のお力で管理整備されているという事実を全くご存じないでしょう。

岡南小学校の子ども達がいつも嬉しい、子ども達が誇りに思っている「命の躍動するビオトープ」は、その維持管理に精力を傾けて整備して下さる方がおられればこそ、開設から18年を過ぎても今なおそこに存在し続けていられるのです。

ビオトープは『手つかずの自然形態でなければいけない』とする見解もあるでしょう。しかし岡南小学校のビオトープは、単なる自然観察エリアを目的としていません。子ども達がいつでも、どんな時にでも、そこで時間を過ごすことを許される『心の寄り所』であるということこそが、子ども達をして『ぼくらのビオトープ』と自慢と誇りをもたせるのです。

いつもいつもありがとうございます。これからもよろしく願っています。

取材：ちたく編集委員 三村康彦
(元岡南小学校PTA会長・ビオトープを育む会発起人)



■ 清輝小学校区町別懇談会 ■



6月24日(金)に校区の町別懇談会が、清輝小学校の図書館で行われました。今年度は、「地域でのコミュニケーションのとり方～顔の見える関係づくり～」というテーマでした。地域での人間関係が希薄になりやすい昨今の現状に合ったテーマだと多くの方に感じてもらえました。みんなで話し合う中で、学区の課題として「情報を伝える力」が弱いことがわかってきました。そして、「声かけ」がとても有効であるということもわかってきました。お互いに声かけを続けることで行事への参加人数が増えたという話もありました。今回の懇談会では、学区の課題を確認し、みんなが課題意識をもつきっかけになり、とても有意義な会になったと思います。

町別懇談会は 地域の問題を共有する方法

…もう一度見直したい 会議の形と今後のテーマについて…

今年度も7月21日に町別懇談会が開催されました。各会場テーマにそって、状況報告や貴重な意見を頂き有難うございました。今後のために役立てて行きたいと思ひます。

さて、今回の町別懇談会では、会場ごとにテーマを決めて当日の出席者からご意見を頂き各町内の問題点や改善点を協議しました。

後日の反省会では、学区の問題点としての指摘も頂きました。各会場なりの問題点や気付きがありました。別々のテーマからの総括としてのまとめは非常に困難となり、学区全体としての集約が難しいと考えます。やはり共通テーマを上げて、どの会場でも協議して核心に触れる意見を集約し対応することが効率的だろうとの思いが残りました。

町別懇談会の企画は、岡輝地区青少年育成協議会にて運営しております。学校・地域が一体となり、心身ともに健全な青少年の育成を図ることを目的とするための岡輝学区の組織です。町別懇談会では、統一テーマをもって多くの方々にご協議いただき、岡輝学区としての道標を提供できるよう、来年度にむけ協議していきたくと思ひます。

さらには岡輝中学校区には、岡輝学区学校運営協議会という組織もあります。育成協議会とともに、数少ない岡輝と名のつく組織です。こちらは学校運営に特化した組織です。各学校の学校経営計画に基づき特に子供たちに関連した地域の問題点を提起していただき、町別懇談会のテーマとして企画する事も選択の一つかと思ひます。

岡輝地区青少年育成協議会 広報部長 高田 充巳

岡南小吹奏楽部 2016サマーフェスティバル出演 岡山県吹奏楽コンクール(小学校の部) 最優秀賞受賞



▲朝日新聞から転載

この夏休み、岡南小吹奏楽部は二つの挑戦をしました。一つは、8月2日、岡南市民会館で行われたサマーフェスティバルへの出演です。曲目は「インザストーン」「海の声」「宝島」の3曲です。「海の声」「宝島」では、2、3年生の可愛いパーカッション演出が印象的で、各パートのソロも堂々としていました。

もう一つの挑戦は、8月9日から14日に倉敷市民会館で行われた岡山県吹奏楽コンクール(小学校の部)への出演です。自由曲の制限時間7分という課題と闘いながら、難しい「ケルト民謡による組曲」を仕上げて当日を迎えました。

小学校部門は、わが岡南小学校1校のみ！さらに、プログラム1番のプレッシャー、そしてコンクールというただならぬ緊張感の中、演奏は始まりました。子ども達は、精一杯それぞれのパートを輝かせて、今、持っている力を出し切りました。その結果、小学校部門最優秀賞の賞状をいただく事ができました。

夏休み中、耐震化工事中の粉塵が舞う、不自由な校内で楽器を運び、暑い体育館での練習に耐え、頑張ってきた日々の努力が実を結び、子ども達の中に確かな自信と素晴らしい思い出が残った夏休みとなりました。

2学期もまだまだ行事が続きます。これから岡南小吹奏楽部の応援をよろしく願ひいたします！
(取材：岡南小学校吹奏楽部保護者 M.Y.)



◆『共有と共感を大切に』

元清輝小学校校長 岡崎明宏先生の瑞宝双光章叙勲をお祝いして…

岡崎先生は、平成9年から14年まで清輝小学校校長としてご赴任いただきました。ご退官された今もシニアスクールの社会科の先生としてご指導いただいています。

主がご赴任いただいた頃が、岡輝中学校区の掲げる「0歳から15歳までの育ちを地域全体で支えよう！」の基本計画が立ち上がった黎明期のころでした。保幼小中の連携教育と地域住民の外からのサポートと、保護者による家庭内環境の健全構築を一体化した「岡輝モデル」の確立をめざした取り組みを先導していただきました。

先生は、「学校・地域・家庭の三位一体の教育力を高めながら、同時に危機感やさまざまな具体的な情報を共有する事が大切である」と話されます。たとえば『2年生の九九完全習得』をめざし、教職員のアイデアを基に、子供たちの九九チャレンジにすべての教職員が対応して、完全習得を実現するという体制を教職員と共に作られたそうです。

取材最後に保護者へのメッセージをいただきました。

『“ありがとう” “おめでとう” という子供たちの頑張りを称える言葉を伝えましょう。この言葉には立場の高低は存在しません。親が子供と同じ立ち位置で称えるほめ言葉です。それは様々な想いを共有し共感することにより他なりません。』シニアスクールでも教鞭をとられている岡崎先生。今回の叙勲のきっかけは清輝小学校への赴任がすべての始まりだったと話されます。そして今この中学校区で導きの先達となり、後ろから支えてくださっておられます。この度はおめでとうございます。

(取材：ちくたく編集委員 三村)



会議室で取材中、門田校長先生より美味しい煎茶をいただきました

おめでとうございます!!

瑞宝双光章叙勲 安井 正文さん

春の叙勲で
瑞宝双光章授与される

岡山地区社会福祉協議会
会務委員の安井正文さん
が、本年五月、春の叙勲
で瑞宝双光章叙勲
を授けられました。

安井さんは昭和十七
年岡山地方防衛局を退り
出陣し岡山中央、西大寺
の両校に勤務され、その
間校長に勤められ、その後
昭和六十一年から會章

「岡南社協だより」から転載

岡山県栄養改善事業 功労表彰「県知事表彰」

小松原洋子さん

岡山県栄養改善事業
功労表彰「県知事表彰」
小松原洋子さん
岡山県栄養改善事業
功労表彰「県知事表彰」
小松原洋子さん
岡山県栄養改善事業
功労表彰「県知事表彰」
小松原洋子さん

「岡南社協だより」から転載

岡南小のP.ファーム 安原農園長さんからの挑戦状!!

PTAで作る農園「P.ファーム」
で育ったおぼけカボチャが、岡南
まつりに合わせて収穫出来ました。

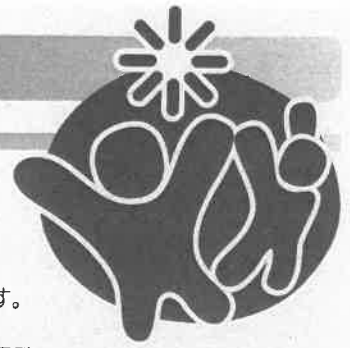
皆で持ち上げて、重さ当て……
正解は、大23キロ・小12キロでした!

現在は、ジャンボ大根が、すくすくと育って
います(へへ) (岡南小学校PTA M.I.)



今、行政が注目！ 社会が注目！

シニアスクールはこんな所だよ！



◆シニアスクールで介護予防——心身ともに健康で美しく生きよう

- 学校の空き教室を借り、学校と同じように時間割にそって9教科の勉強をします。
- 元小中高大学等の先生が、テストなし、宿題なし、指名なしで楽しい授業をします。
- 子どもと同じ給食を食べます。
- 4月に始まり、子どもたちと同じように入学式、夏休み、運動会、学習発表会、遠足、修了式などもあります。
- 三世代同居の雰囲気の中で学校生活を送っています。
- 友だちをつくりたい、規則正しい生活をしたい、学びたいなどの思いを充足することで、認知症の予防には最適な場所になっています。



大森市長訪問



授業（美術）



合同授業



留学生との交流



交流給食



遠足

岡輝学区の自慢 シニアスクール

いつでも入学できます

29年度

生徒募集中！！

平成15年9月、新しい学校の在り様を求め全国初のシニアスクールを岡輝中学校で試行開校しました。以来14年目を迎え、本年度も多くの人に支えていただきながら、3校で50名以上のシニアの方々が学びあっています。「生きることとは学ぶことである」という生き方、そして各校においては児童生徒との繋がりを通して、穏やかな学習環境を作っています。3教室ともそれぞれ特色がありますので、お問い合わせの上、ご入学ください。

シニアスクール開校場所

- 岡輝教室** … 岡山市北区岡町 12-17 岡山市立岡輝中学校内
- 清輝教室** … 岡山市北区新道 1 岡山市立清輝小学校内
- 岡南教室** … 岡山市北区岡南町 2-4-5 岡山市立岡南小学校内

授業について

- 岡輝教室** … 週3日【月・水・金】 ●**清輝教室** … 週2日【火・金】
- 岡南教室** … 週1日【金】
- 授業時間** … 原則として1日5時限【午前中4時限（2・3教科） 午後1時限】
- 履修科目** … 国語・社会・数学・理科・音楽・美術・家庭科・保健体育・英語
- 子どもと同じ給食あり（実費）
- 子どもたちとの交流を目的としたもの … 交流会・文化祭・運動会・総合学習
- 研修旅行・遠足の実施
- 教育問題、時事問題や健康についてなどの特別講座あり

講師について

- 各教科4～5名 現在40名の優秀な講師陣

必要経費（給食費・遠足費別）

- 授業料** … 岡輝教室 年間4万円（月4,000円 10ヶ月分割払い）
清輝教室 年間3万円（月3,000円 10ヶ月分割払い）
岡南教室 年間2万円（月2,000円 10ヶ月分割払い）



山陽新聞2013年2月9日号掲載

シニアとは…

シニアスクールにおける“シニア”とは、年長者、人生経験者という意味です。学ぶ気持ちと、活動する意欲を持っている方を募集しています。

お申し込み用紙はお近くの公民館にあります。

特定非営利活動（NPO）法人 **子どもたちと共に学ぶ教室シニアスクール**

〒700-0867 岡山市北区岡町12-17 [岡山市立岡輝中学校内]
TEL.086-232-0056（事務局） FAX.086-224-0359（岡輝中）

